

意思の表出の申出書

※①～④、⑦、⑧については、必ず記載してください。

⑤、⑥については、可能な範囲で記載してください。

① 「意思の表出」を行おうとする検討課題・趣旨

② 想定する「意思の表出」の種類、理由

③ 「意思の表出」を行おうとする時期、理由

④ 参照することを想定している過去の「意思の表出」のタイトル・発出年月日

⑤ 骨子（概要）案（分科会等として「意思の表出」の発出を決定している場合）
別添してください。箇条書きで構いません。

⑥ 各項目に関する現状・見通し等を記載

1) 個別分野のみに関わり学協会等で代替可能ではないか

2) 読者・名宛人を明確にして立案しているか
(想定する読者・名宛人を記載)

3) 関係する市民や団体、関係機関などとの意見交換の場を設けているか
(外部機関等との意見交換の実績（未提出の概要があれば別添）、今後の見通し等を記載)

4) 異論に対する公平な取り扱いがなされているか

(特に国民的議論が大きく分かれている問題の場合には、異論に対する取り扱いについての考え方を記載)

5) グローバルな議論の状況に十分な目配りがなされているか

(当該問題についての主要国の動向についてわかる範囲で記載)

6) 関係する委員会・分科会との連携がなされているか

(関連する他の分科会等との連携の有無・予定(連絡会議との関係を含む)等を記載)

7) 提言等発出後も、関係する市民や団体、関係機関との意見交換やシンポジウムを行うなど、提言等の実現に努力するか

⑦ これまでの審議経過(複数の分科会等が関わっている場合にはすべての分科会等について記載してください。議事録を別添してください。)

⑧ 今後の想定するスケジュール等

(委員会・分科会での審議予定、フォーラムの開催予定など)

⑨ その他

(ページ数について特段の制限はありません)

〇〇委員会〇〇分科会委員長

(氏名) 〇〇 〇〇

(提出年月日) 〇〇年〇〇月〇〇日

意思の表出の申出書

※すべての項目について、必ず記載してください。

- ① 「意思の表出」を行おうとする検討課題・趣旨
- ② 想定する「意思の表出」の種類、理由
- ③ 「意思の表出」を行おうとする時期、理由
- ④ 参照することを想定している過去の「意思の表出」のタイトル・発出年月日
- ⑤ 骨子（概要）案（分科会等として「意思の表出」の発出を決定している場合）
別添してください。箇条書きで構いません。
- ⑥ 各項目に関する現状・見通し等を記載
 - 1) 個別分野のみに関わり学協会等で代替可能ではないか
 - 2) 読者・名宛人を明確にして立案しているか
(想定する読者・名宛人を記載)
 - 3) 関係する市民や団体、関係機関などとの意見交換の場を設けているか
(外部機関等との意見交換の実績（未提出の概要があれば別添）、今後の見通し等を記載)

4) 異論に対する公平な取り扱いがなされているか

(特に国民的議論が大きく分かれている問題の場合には、異論に対する取り扱いについての考え方を記載)

5) グローバルな議論の状況に十分な目配りがなされているか

(当該問題についての主要国の動向についてわかる範囲で記載)

6) 関係する委員会・分科会との連携がなされているか

(関連する他の分科会等との連携の有無・予定(連絡会議との関係を含む)等を記載)

7) 提言等発出後も、関係する市民や団体、関係機関との意見交換やシンポジウムを行うなど、提言等の実現に努力するか

⑦ これまでの審議経過(複数の分科会等が関わっている場合にはすべての分科会等について記載してください。議事録を別添してください。)

⑧ 今後の想定するスケジュール等

(委員会・分科会での審議予定、フォーラムの開催予定など)

⑨ その他

(ページ数について特段の制限はありません)

〇〇委員会〇〇分科会委員長

(氏名) 〇〇 〇〇

(提出年月日) 〇〇年〇〇月〇〇日

査読結果報告書

(1) 意思の表出を行う意義

(2) 委員会における審議経過

(3) 査読における主な指摘事項とその対応

(4) 確認事項の充足性（報告の場合は除く）

勧告、答申、要望、声明、提言、回答の場合：下記①～⑦

見解の場合：下記①～⑤

- ① 個別分野のみに関わり学協会等で代替可能ではないか
- ② 読者・名宛人を明確にして立案しているか
- ③ 関係する市民や団体、関係機関などとの意見交換の場を設けているか
- ④ 異論に対する公平な取り扱いがなされているか
- ⑤ グローバルな議論の状況に十分な目配りがなされているか
- ⑥ 関係する委員会・分科会との連携がなされているか
- ⑦ 提言等発出後も、関係する市民や団体、関係機関との意見交換やシンポジウムを行うなど、提言等の実現に努力するか

(5) その他

(ページ数について特段の制限はありません)

〇〇委員会委員長

(氏名) 〇〇 〇〇

(提出年月日) 〇〇年〇〇月〇〇日

(日本学術会議の意思表出の種類)

提 言

(主題) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○



(公表（記者発表）の日付)

〇〇年（※和暦）（〇〇年（※西暦））〇〇月〇〇日

(表出主体)

日 本 学 術 会 議

（表出主体が日本学術会議である場合）

この勧告（又は答申、要望、声明、提言、回答）は、日本学術会議〇〇委員会△△分科会が中心となり審議を行ったものであり、日本学術会議として公表するものである。

（表出主体が部、委員会又は分科会である場合）

この見解（又は報告）は、日本学術会議〇〇委員会△△分科会の審議結果を取りまとめ公表するものである。

日本学術会議〇〇委員会△△分科会

	（氏名）			（職名）
委員長	〇〇	〇〇	（第〇部会員）	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
副委員長	〇〇	〇〇	（第〇部会員）	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
幹 事	〇〇	〇〇	（連携会員）	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	〇〇	〇〇	（第〇部会員）	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	〇〇	〇〇	（連携会員）	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	〇〇	〇〇	（特任連携会員）	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	〇〇	〇〇	（第〇部会員）	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

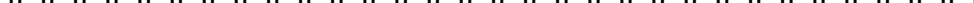
本件の作成に当たっては、以下の職員が事務を担当した。

	（氏名）		（職名）
事務局	〇〇	〇〇	参事官（〇〇担当）（又は〇〇課長）
	〇〇	〇〇	参事官（〇〇担当）付参事官補佐（又は〇〇課課長補佐）
	〇〇	〇〇	参事官（〇〇担当）付専門職（又は〇〇課〇〇係長）
	〇〇	〇〇	参事官（〇〇担当）付専門職付（又は〇〇課〇〇係）

注）意思表出は、表出主体の一体的な意思の表出であることから、本文には執筆者の個人名は記載しない。ただし、ヒアリングの資料等個人名の記載されているものを参考資料として添付することは可とする。学術調査員、オブザーバ、参考人等を記載することも可能であるが、その場合は委員会等の構成員と明確に区別できるようにする。

目 要

1 作成の背景

-  O_o
-  O_o

2 現状及び問題点

- ・ ○○
○。
- ・ ○○
○（本文○ページ 図○参照）。

3 提言等の内容

(1) ○○○○○

- [illegible]

(2) ○○○○○

- ・ ○○
○○○（本文○ページ 図○参照）。
- ・ ○○。

(3) ○○○○○

- ・ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○（本文○ページ 図○参照）。

- ・ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○。

注) 勧告・答申・要望・声明・提言・回答については、特に国際的発信を行うことが適当なものについて全文の英訳、その他のもの及び見解・報告については要旨の英文を作成する。

目 次

はじめに	1
1 ○○○○	2
(1) ○○○○	2
① ○○○○○○	3
② ○○○○	5
③ ○○○○	6
ア ○○○○○○○○	7
イ ○○○○○○	8
(ア) ○○○○○○	10
(イ) ○○○	12
ウ ○○○○○○○○	15
④ ○○○○	16
⑤ ○○	17
(2) ○○○○○○	-
(3) ○○○	-
2 ○○○○○○	-

-

-

-

おわりに

<用語・人名の説明>

<参考文献>

<付録>

(本 文)

提言等の提出チェックシート

このチェックシートは、日本学術会議において意思の表出（勧告・答申・要望・声明・提言・見解・報告・回答、以下「提言等」という）の査読を円滑に行い、提言等（案）の作成者、査読者、事務局等の労力を最終的に軽減するためのものです¹。

提言等（案）の作成者は提出の際に以下の項目を1～11をチェックし、さらに英文タイトル（必須）、英文アブストラクト（任意）、SDGs との関連の有無（任意）を記載し、提言等（案）に添えて査読時に提出してください。

記入者（委員会等名・氏名）：

和文タイトル _____

英文タイトル（ネイティブ・チェックを受けてください）

	項目	チェック
1. 表題	表題と内容は一致している。	☐
2. 論理展開 1	どのような現状があり、何が問題であるかが十分に記述されている。	☐
3. 論理展開 2	政府や関係機関に対する意思の表出については、具体的な担当部局を想定している。	☐
4. 読みやすさ 1	本文は 20 ページ（A4、フォント 12P、40 字×38 行）程度である。※図表を含む	☐
5. 読みやすさ 2	専門家でなくとも、十分理解できる内容であり、文章としてよく練られている。	☐
6. 要旨	要旨は、要旨のみでも独立した文章として読めるものであり 2 ページ（A4、フォント 12P、40 字×38 行）程度である。	☐
7. エビデンス	記述・主張を裏付けるデータ、出典、参考文献をすべて掲載した。	☐
8. 適切な引用	いわゆる「コピペ」（出典を示さないで引用を行うこと）や、内容をゆがめた引用等は行わず、適切な引用を行った。	☐

¹ 参考：日本学術会議会長メッセージ、「提言等の円滑な審議のために」（2014 年 5 月 30 日）。
<http://www.scj.go.jp/ja/head/pdf/1>

9. 既出の提言等との関係	日本学術会議の既出の関連提言等を踏まえ、議論を展開している。	☐
10. 利益誘導	利益誘導と誤解されることのない内容である。	☐
11. 委員会等の趣旨整合	委員会・分科会の設置趣旨と整合している。	☐
※ 9 について、その提言等のタイトルと発出委員会・年月日、既出の提言等との関係、相違点等について概要をお書きください。		
※ チェックを付すことができない場合、その理由があればお書きください。		

◎ SDGs（持続可能な開発目標）との関連（任意）

以下の 17 の目標のうち、提出する提言等（案）が関連するものに○をつけてください（複数可）。提言等公表後、学術会議 HP 上「SDGs と学術会議」コーナーで紹介します。

1. （ ） 貧困をなくそう
2. （ ） 飢餓をゼロに
3. （ ） すべての人に保健と福祉を
4. （ ） 質の高い教育をみんなに
5. （ ） ジェンダー平等を実現しよう
6. （ ） 安全な水とトイレを世界中に
7. （ ） エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
8. （ ） 働きがいも経済成長も
9. （ ） 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. （ ） 人や国の不平等をなくそう
11. （ ） 住み続けられるまちづくりを
12. （ ） つくる責任つかう責任
13. （ ） 気候変動に具体的な対策を
14. （ ） 海の豊かさを守ろう
15. （ ） 陸の豊かさも守ろう
16. （ ） 平和と公正をすべての人に
17. （ ） パートナリシップで目標を達成しよう

※ 「持続可能な開発目標（SDGs）」とは

2015 年 9 月に国連総会が決議した「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が掲げた目標。

詳細は国連広報センターHP をご覧ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

提言等公表時のSDGs説明

この説明は、日本学術会議の意思の表出（勧告・答申・要望・声明・提言・見解・報告・回答、以下「提言等」という）を日本学術会議ホームページのSDGsコーナーで紹介し、多くの関係者の閲読を促進するためのものです。

提言提出時のチェックシートにおいてSDGsとの関連に記述した場合は、日本語紹介文と英文アブストラクトを記載し、提出してください。

記入者（委員会等名・氏名）：

和文タイトル _____

◎ SDGs（持続可能な開発目標）との関連

チェックシートで選択した項目に○をつけてください。

1. () 貧困 2. () 飢餓 3. () 健康 4. () 教育
5. () ジェンダー平等 6. () 安全な水 7. () エネルギー
8. () 経済成長 9. () 産業と技術革新 10. () 不平等
11. () まちづくり 12. () つくるつかう責任 13. () 気候変動
14. () 海の豊かさ 15. () 陸の豊かさ 16. () 平和と公正
17. () パートナリシップ

◎ 和文紹介文 200字以内

◎ 英文アブストラクト 150 words 以内

◎ キャッチフレーズ 20字以内

◎ キーワード 5つ程度

(提言等)「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」補足資料

1 意思表出の主たる対象者又は機関等

例：国民一般、行政機関（具体的に）、大学等の研究者、産業界、学協会
等できる限り具体的に記述

2 発表に当たっての記者への説明の意向

☐ 記者への説明を要する ☐ 資料配布で可

3 英文のタイトル及び要旨

(1) タイトル (必須) ○○○○ ○○○○ ○○ ○○○○○○

(2) 要旨 (任意)

[illegible]

4 キャッチコピー（和文、英文）（2行程度、HP掲載時等の説明に用いる）

[illegible]

(英文) ○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ ○○○○○○ ○○○○○○
○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○.

〇〇年〇〇月〇〇日
日本学術会議〇〇委員会

(提言等)「○○○○○○○○○○○○○○○○○○」

1 現状及び問題点

- ○○。
- ○○。

2 提言等の内容

(1) ○○○○○

- [illegible]

(2) ○○○○○

- ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○。
- ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

(3) ○○○○○

- [illegible]

問い合わせ先

〇〇委員会委員長 〇〇 〇〇

△△大学□□研究室

T e l : 00-00000-00000

事務局参事官（審議〇担当） ○〇 ○〇

T e l : 00-00000-00000

(意思の表出の種類)「○○○○○○○○○○○○○○」

フォローアップ・レポート

1 内容

- [illegible]

2 意思の表出の発出年月日

〇〇（和暦）年（〇〇〇〇（西暦）年）〇〇月〇〇日

3 フォローアップ活動

(提言を浸透させるために委員会等が主催したシンポジウム等)

4 各界の反応

(1) 政策立案者の反応

(2) 学協会・専門職団体、研究教育機関、市民団体等の反応

(a) 学協会・専門職団体

(b) 研究教育機関

(c) 市民団体

(d) その他

5 マス・メディア

6 考察と今後の展望

フォローアップ・レポート作成責任者

〇〇委員会委員長（第〇〇期） 〇〇〇 〇〇

提出日 〇〇年（〇〇〇〇年）〇〇月〇〇日

(意思の表出の種類)「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」
インパクト・レポート

1 内容

- ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○。
- ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○。

2 提言等の発出年月日

〇〇（和暦）年（〇〇〇〇（西暦）年）〇〇月〇〇日

3 フォローアップ活動（提言を浸透させるための委員会等が主催したシンポジウム等）

4 社会に対するインパクト

- (1) 政策への反映
- (2) 学協会・専門職団体、研究教育機関、市民団体等の反応
 - (a) 学協会、専門職団体
 - (b) 研究教育機関等
 - (c) 市民団体
 - (d) その他

5 マス・メディア

6 考察と今後の展望

(該当する箇所に✓を付したうえで、説明してください)

- ☐ 意思の表出の内容の大部分が実現された
- ☐ 意思の表出の内容の一部が実現された
- ☐ 意思の表出の内容は実現されていない

インパクト・レポート作成責任者

〇〇委員会委員長（第〇〇期） 〇〇〇 〇〇

提出日 〇〇年（〇〇〇〇年）〇〇月〇〇日

※3年経過以降に追記すべき事項が生じた場合には、任意で、改訂版を科学的助言等対応委員会へご報告ください。